沖縄ヤマト運輸 株式会社
 項目

 1
 輸送の安全に関する基本的な方針
 1.ヤマトゲループの「安全第一・営業第二」の理念を継続し、常に人命尊重を最優先 2.地域と連携した自然災害に対応できる豊かな生活が図れるように復旧・復興と安全安心の確保 2 輸送の安全に関する目標及び その達成状況 重大交通 · 労災事故状況 3 自動車事故報告規則第2条に規定す 事故に関する統計 2023年度自動車事故報告書提出実績 提出件数 0件 単独 健康起因 4 輸送の安全に関する組織体制及び 指揮命令系統 安全管理規程の安全管理組織図にて指揮命令を行っています。 5 輸送の安全に関する重点施策・ I. 2023年度重点施策実績 取組み事項・重点施策実施状況 (1)運行管理者・整備管理者による法令遵守した安全管理業務及び、安全管理者・安全衛生管理者・産業医による安全衛生管理業務を実施しました (2)社員(乗務員)へ充実した安全教育をするために新人教育マュアルの見直しを図り、新たに新人研修(乗務)カリキュラムによる運転教育・業務教育指導表を整備しました。 (3)指導長は、安全指導員を中心に巡回指導及びSD添乗指導を行い、交通・労働災害の安全意識向上と未然に事故防止を図るため安全教育を実施しました。 ク」の取得推進し、更新22営業所が認定を受けました。 (5) 定期的な洗車を実施し、車両美化の取組みを推進しました。 Ⅱ. 2023年度その他取組み事項 (1)管下営業所や事業所においての安全会議の実施(月1回以上) (2)社員50名以上の拠点における安全衛生会議の実施(月1回) (3)主管支店長、労働組合委員長が参加しての安全指導員会議を月1回開催。 (4)事故が発生した際の事故速報の全店配信による情報の共有化と類似事故防止の注意喚起の実施及び事故惹起者への直接面接指導。 (5)Neco-Assi運行管理システム導入により、毎日の運転をデータで見える化「ヒヤリ」「ハット」情報を活用し、運転終了後には安全教育を実施し運転記録証明書取得による適切指導。 (6)事故対策機構で受診する適性診断の分析結果による要重点指導ドライバーの抽出及び添乗指導の実施。 (7)安全パトロールの実施により安全運転違反者の抽出及び違反者に対する面接指導の実施。
(8)犯罪の起きにくい社会づくりを実現するため協定を締結、沖縄県警察本部生活安全部と弊社所管の本社や営業所等を管轄する警察署へ「子ども110番の家」に委嘱され、子供の見守り 活動に努める。 皿. 2024年度重点施策実施 (1)安全を確保するための施策 (1)安全を確保するためDX推進・新機材導入及び新社屋施設に安全研修センターを設置及び職場環境の整備。 (2)法令の遵守および交通事故防止と労働災害防止に向け、充実した安全教育の基守および交通事故防止と労働災害防止に向け、充実した安全教育の実施。 (3)社員・パートナーとのコミュニケーションを深めるため、定期的に安全に関する必要な情報を共有し、管下店は「稼働別仕分け」 「夜間集約」等の働き方を変えることで安心・安全な職場環境を整備。 (2) 重点(具体的)取組事項 (1)運行管理システム(Neco-Assi)を活用し、管下店の管理者へ日々の運転アラート動画データを情報伝達し適切な指導を実施する。 (2)フォークリフト作業範囲と歩行者用通路を明確に分離し、定期的に作業導線の確認・見直し施設内の危険箇所の修繕を実施する。 (3)適正な点呼および日常点検を実施するため、運行管理者、整備管理者への任命前教育および年1回の定期教育を実施する。 (4) 社員が安心して働ける職場環境を整備するため、建屋責任者は、安全指導員を中心とした2S(整理・整頓)運動に積極的に参加し、効果的な助言・指導監督を実施する。 (5) 全社員に交通・労災事故を防止を図るため安全対策会議等を通して、「ヒヤリ」「ハット」分析を活かし効果的な安全教育を実施する。 (6) Gマーク制度(貨物自動車運送事業安全性評価制度)の普及促進をする (7)「交通事故ゼロ運動」、「全国安全大会」、「労働災害防止運動」、「こども安全教育」を実施する。 (8)各種事故防止キャンペーン「年末年始の輸送等に関する安全総点検」を実施する。 6 輸送の安全に関する I. 2023年度全社共通運動の実績 全社共通の計画と実績 (1)運行管理システム(Neco-Assi)を活用し、管下店の管理者へ日々の運転アラート動画データを情報伝達し適切な指導を実施する。 (2)フォークリフト作業範囲と歩行者用通路をフェンス設置(固定設置可能店)する事で作業導線を明確に分離し、施設内の危険箇所の修繕を実施する。 (3)全社員に交通・労災事故を防止を図るため安全対策会議等を通して、「ヒヤリ」「ハット」分析を活かし効果的な安全教育を実施する。 (4)社員が安心して働ける職場環境を整備するため、建屋責任者は、安全指導員を中心とした5S(整理・整頓・清掃・清潔・躾)運動に積極的参加し、効果的な助言・指導監督を実施する。 (5)運行管理システム(Neco-Assi)を活用し、管下店の管理者へ日々の運転アラート動画データを情報伝達し適切な指導を実施する。 (6) Gマーク制度(貨物自動車運送事業安全性評価制度)の普及促進をする。 (7)「交通事故ゼロ運動」、「全国安全大会」、「労働災害防止運動」、「こども安全教室」を実施する。 (8)各種事故防止キャンペーン及び「年末年始の輸送等に関する安全総点検」を実施する。 Ⅱ. 2024年度全社共通運動計画 (1) 4月 交通事故防止を目的とした「第40期 春の交通事故ゼロ運動」を実施します。 (2) 6月 環境にやさしい安全運行(バス停集配)による省エネ運転(エコドライブ研修)を取組み実施します。 (3) 7月 労災事故防止を目的とした「第40期 安全週間」を実施します。 (4) 9月 交通事故防止を目的とした「40期 秋の交通事故ゼロ運動」を実施します (6) 12月 年末年始繁忙期計画で、交通事故、労災事故防止を目的とした取組みを実施します。 7 輸送の安全に関する予算・実績額 I. 2023年度実績 (1)運転記録証明書の取得費用 1,440名(約96万円)。 (2)安全祈願祭費用 (3)5トン限定準中型免許取得費用 7名(約75万円) (4)各種資格取得バックアップ費用 238名(約69万円)。 (5)永年無事故運転者表彰報奨金額 2年(52名)・5年(71名)・8年(7名)・18年(2名)・25年(1名)の133名(約346万円)。 Ⅱ. 2024年度予算計画 (1)運転記録証明書の取得費用 (約100万円)。 (2)安全祈願祭費用 (約 20万円)。 (3)5トン限定準中型免許取得費用 10名(約100万円)。 (4)各種資格取得バックアップ費用 250名(約80万円)。 (5)永年無事故運転者表彰報奨金額 (約250万円)。 (5)永年無事故運転者表彰報奨金額 8 事故・災害等に関する報告連絡体制 安全管理規程により、報告連絡体制を構築しております。 I. 安全管理規程 2023年7月1日改定 9 安全管理規程・安全統括管理者 取締役 小寺 崇 Ⅱ. 安全統括管理者 10 輸送の安全に関する教育及び 研修の計画・実績 (1)雇用の際の入社時基礎研修 (2)5日間の新人SD教育カリキュラムによる教育 (3)運転適性診断の受診(初任診断、一般診断等) (4)こども交通安全教室の実施及び参加への指導 (5)運転者の研修(添乗指導・適性診断結果に基づくカウンセリング・3年に1回、適性診断) Ⅱ. 2024年度研修計画 (1)雇用の際の入社時基礎研修(運転者安全手帳の社員行動指針など乗務に関しての運転心得を明示)する。 (2)5日間の新人SD教育カリキュラムによる教育 (3)運転適性診断の受信(初任診断、一般診断等) (4)こども交诵安全教室の実施及び参加への指導 (5)運転者の研修(添乗指導・適性診断結果に基づくカウンセリング・3年に1回、適性診断) | | 輸送の安全に係る内部監査結果 I. 2023年度監査実績 並びにそれを踏まえた措置内容 (1)年1回のヤマトホールディングスの監査を2023年6月12日~2023年6月29日まで開催。 (2)上記の監査に伴い、一部指摘、助言箇所等に対して改善を実施しました。 (3)各店所および事業所に対して2023年4月~2024年3月に内部監査を実施しています (4)安全重点施策の前年度の達成状況の検証結果で明らかになった課題だけでなく、将来考えられる課題に対してもインプット情報とし、あらかじめ対応処置を講じ、2月開催の経営会議等で 「第39期 当社の運輸安全マネジメントの取り組み」のポスターを作成し、全社員に「輸送の安全を確保する計画及び達成状況」を確認できる掲示用ポスターを作成した。今後も継続的実施します。 Ⅱ. 2024年度監査計画 (1)年1回のヤマトホールディングスの監査を2024年5月13日~2024年5月24日まで実施します。 (2)上記の監査結果を踏まえ改善を実施します。 。 2025年3月に内部監査を実施します。 (4)安全重点施策の前年度の達成状況の検証結果で明らかになった課題だけでなく、将来考えられる課題に対してもインプット情報とし、あらかじめ対応処置を講じ、2月開催の経営会議で マネジメントレビューを継続的実施します。なお、40期沖縄ヤマト運輸の運輸安全マネジメントの取り組み【輸送の安全を確保する計画及び達成状況】の掲示用ポスターを作成し実施します。 12 輸送の安全に係る情報の公表 輸送の安全に係る情報の公表はありません。